



市民図書館所蔵 おすすめの新刊



**やっぱり犬がほしい**  
スギヤマカナヨ：作  
アリス館

前から後ろからも読める本です。前から読むと、ぼくが犬を飼い始めるまでの心の準備やお父さんの経験のお話。後ろから読むと、ぼくと犬が過ごした楽しく幸せな日々から悲しい別れと思い出になるまでのお話が描かれ、命の大切さを感じることができます。

**星空をつくる機械**  
～プラネタリウム100年史～

井上 毅：著  
KADOKAWA

プラネタリウムに行ったことがありますか。大分市も含め、全国には300ものプラネタリウムがあります。この本には、歴史や機械の紹介、未来のプラネタリウムの可能性まで、プラネタリウムの魅力が満載です。星空を身近に感じてみませんか。



市民図書館からのお知らせ

**県内の図書館の本を  
近くの図書館(室)で  
借りられます**

県立図書館と県内市町村立図書館には、その図書館で所蔵していない図書をお互いに貸し借りする図書館ネットワークがあります。これを利用して、絶版や品切れなどで手に入らない図書を取り寄せ、お近くの市民図書館や地区公民館図書室などで借りることができます。ぜひ、ご利用ください。



詳しくは、ホームページをご覧ください。市民図書館 ☎576-8241へ。

#オオイタレキシ旅

大分市内にあるとっておきの文化財の魅力を届けます！

— 第11弾 —  
霊山寺山門



Ryuzenji

# 市指定有形文化財  
# 徳川家ゆかりの山門

# 鬼や若武者などの物語の一幕が...

# 絶景かな！

Point

霊山寺鐘撞堂は市街地が一望できる絶景のポイント。市のセラピーロードとして整備されている「霊山セラピーロード」を使って霊山寺まで登ってみませんか？

Access

所在地：大字岡川855  
※JR大分駅から車で約30分  
駐車場：あり 無料

☎ 文化財課 ☎578-7546

市報クイズ

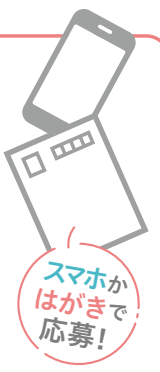
○に入る言葉は何か？

江戸時代、参勤交代にも利用された今市石畳に面影を見ることができる道は？

肥後○○

ヒントは、この市報の中にあります。

正解者の中から抽選で、高崎山ペア入園券&高崎山グッズを3人にプレゼント！ ※当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。



スマホはがきで応募！

応募方法

スマホはがき 右の二次元コードから応募してください。はがきに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、市報の感想を記入し、3月15日(金)〈消印有効〉までに広聴広報課(〒870-8504 荷揚町2-31 ☎537-5713)へ。



2月1日号「市報クイズ」の答え

アーティストバンク推進事業の取り組みとして開設された専用ウェブサイトは？  
「P O A R T J」

編集担当より 春は緑が芽吹く季節。3月20日(水)から開催される第32回おおいた人とみどりふれあいいちでは、花苗の展示販売をはじめさまざまなイベントを予定しています。

今号の表紙の人は、イベントの一つ「寄せ植え教室」で講師をされる日野さんです。花の香りと色彩の豊かさが、寄せ植えの大きな魅力。この機会に、園芸を通じて花と緑を愛でてみませんか。

市公式SNSでは、旬な情報を発信中！



市公式SNSはこちら



それは、新しくできた友だちをわたくしが家に連れて来たときのことでした。母はうれしそうにその友だちに「家はどこなの？」と尋ねたので、友だちが答えると、母は「そう」とだけ言い、その場を離れていったのです。

わたしは、母は「ほら、孫のためだから」と伏し目がちに言うのでした。わたしは母に、本人に責任のない「生まれ」で差別することがいかに恥ずべきことなのか気づいてほしいと思い、今でも後悔している小学生のころの出来事を話すことにしたのです。

わたしは、母と娘の三世代で同居をしています。その娘が結婚を考えている相手を家に連れて来たときのことです。母も同じ席し、終始、和やかに談笑しながら、楽しい時間を過ごしました。しかし、娘の相手が帰った後、母はわたしにそつと言うのです。「とてもいい子だね。でも、念のために詳しい出身地を調べておいたら」と。

人の生き方を考える 後悔、そして...



あれから自分なりに差別について学んでいく中で、決して許されないことをしてしまったと悔いる気持ちがずっと残り続けていました。その想いを母に伝えようとわたしは「母さん。今でも疎遠になった子のことを考えると後悔してもしきれない。直したい。だから娘には同じ想いをさせたくないの。本当の意味で『孫のため』になることを考えていこうよ」と話すと、母は静かに目を閉じながら聞いていました。

今日は娘の結婚式。うれしそうに孫の姿を見ている母の笑顔を眺めながら、そして何より、幸せそうな娘を見つめながら、わたしは、差別の連鎖を次の世代に引き継がないと心に誓うのでした。

結婚などの人生の節目で差別の芽が現れることがあります。わたしたち一人ひとりが差別心と向き合い、部落差別をはじめあらゆる差別の解消に取り組んでいくことが大切です。